

情報通信部会長報告

1. 会議名 第1回部会総会（オープン部会）
2. 日時 2025年9月24日（水）15:00～16:30
3. 場所 秋田商工会議所7階 ホール80
4. 出席者 部会員等43名（当部会員18名）
5. 懇談
テーマ 「A Iで実現する業務改善と次世代の組織」
ゲスト (株)エイチ・エーエル 安藤 昌明 氏
(中小企業診断士、ITコーディネーター、1級販売士)
6. 協議 2号議員選任のための選考委員選任について

■ 生成AIの概要と注意点

- インターネット上に存在する膨大な情報を学習し、利用者からの質問に回答を生成
- **入力された情報は新たな学習データとして利用される可能性・リスクがある**
- AIはあくまでインターネット上の情報をまとめているに過ぎず、**効率的に情報を得られる一方で、回答が常に正しいとは限らない**



安藤 昌明 氏

■ 主な生成AIツールの特徴

生成AIツール	特徴
ChatGPT (OpenAI)	会話や要約、データ分析など、幅広い用途に使える万能型
Gemini (Google)	GmailやGoogle検索といったGoogleのサービスと強力的に連携
Copilot (Microsoft)	WordやExcel、PowerPointなMicrosoft365製品との連動が強み

■ 生成AIの効果的な使い方

1. 文章作成支援

- メールの文面、謝罪文、ブログ記事、企画書・事業計画書の構成案など

2. アイデア出し

- 新商品やサービスのアイデア、チラシのキャッチコピー、Instagramのハッシュタグ提案など

3. 情報収集・分析

- 市場動向の調査、ターゲット層の分析、長文要約など

4. その他

- 翻訳、簡単なプログラミング、契約書のひな形作成など

■ 生成AIにできないこと・苦手なこと

- 「1年後の株価」などの未来予測や、インターネット上に情報が少ないニッチな質問への回答は難しい
- 回答にはハルシネーション（もっともらしい嘘）が含まれている可能性があり、人による事実確認が必要

■ 的確な回答を得るためのポイント

1. 立場を明確化する

- 質問者の立場（業種や役職等）を最初に伝える

2. 具体的な質問をする

- 人への相談と同様に、背景や状況をできるだけ具体的に説明する

3. 対話を重ねる

- 一度の回答で終わらせず、追加で質問を繰り返すこと（壁打ち）で、回答の精度を高めていく

4. 条件を細かく指定する

- 「10個提案して」「表形式でまとめて」など、アウトプットの形式や条件を指定することで、より活用しやすいデータとなる

■ まとめ

- ビジネスの方向性に悩んだ時、社内だけでは出ないような**新しい視点のアイデア**を得られる可能性がある
- **回答の正確性に注意が必要**だが、**事実確認を怠らなければ、様々な業務を効率化できる強力なツール**となる
- **売上拡大・収益力向上に向け、生成AIを積極的に活用すべき**

■ 協議 2号議員選任のための選考委員選任について

議員改選に伴う2号議員選任のための選考委員7名を選任し、選考委員会を開催した結果、次の3社を当部会からの2号議員に内定した。

- ・（株）アートシステム
- ・ 秋田活版印刷（株）
- ・（株）秋田放送